Ｒ７年度の事業報告書

Ｒ７年４月１日からＲ８年３月 31 日まで

法人名　特定非営利活動法人ブエンカミーノ

１　事業の成果

本年度は、地域交流フリースペース OKAZAKI（岡崎ハウス）を中心とした多世代交流の場づくり、若者支援、農業、フリースクール運営などを継続的に実施した。また、これまでの地域共生活動が評価され、社会貢献者表彰を受賞する機会にも恵まれた。さらに、グループ法人である一般社団法人プエルトが運営する就労移行支援事業所ジョブカミーノが開所し、施設外就労の受入先として連携を開始するなど、地域における包括的な支援体制の構築が進んだ一年となった。

【若者支援事業】

ひきこもりや不登校、キャリアブレイク中、無業状態など様々な生きづらさを抱える若者に対し、就労体験や共同生活、ワークキャンプ等を通じた支援を継続して行った。

本年度は、一般社団法人プエルトが運営する就労移行支援事業所ジョブカミーノが開所し、当法人は施設外就労の受入先として農業、コミュニティカフェ、フリースクール、地域交流事業等の活動機会を提供した。利用者７名が各現場でジョブトレーニングを行い、地域住民や子ども、高齢者らとの関わりを通じて就労に必要な経験を積むことができた。

また、年間３回の若者ワークキャンプを実施し、全国から多くの若者が参加した。農作業や共同生活、対話の機会を通じて、自身の進路や生き方を見つめ直す機会を提供するとともに、継続的なコミュニティ形成にもつながった。

【農業事業】

農業を地域交流と人材育成の場として位置付け、野菜の生産・販売を継続した。夏と秋には収穫祭を実施し、地域住民や子どもたちが収穫体験を楽しみながら交流する機会となった。

また、農業ボランティアの会が定着し、冬季を除く毎週月・水・金曜日に活動を実施した。毎回 15 名前後の地域住民が参加し、農作業や野菜の袋詰め等を通じて交流を深めた。農業を介した地域コミュニティ形成の場としての役割がさらに広がった一年であった。

【地域共生・居場所事業】

スタッフの増員など体制を強化することによって地域交流フリースペース OKAZAKI（岡崎ハウス）の運営を週３日から週５日へと移行することが出来た。コミュニティカフェ岡崎キッチンや各種ワークショップを実施。乳幼児親子から高齢者まで多様な世代が日常的に集う地域の交流拠点として定着し、多世代交流の場として活用された。

また、地域食堂ぶどうの木を毎月開催し、月見コンサート、ハロウィンイベント、周年祭マルシェなど季節行事も実施した。食を通じた交流や地域住民同士のつながりづくりの場として、多くの参加

者を迎えることができた。

【フリースクール事業】

安佐北フリースクール OKAZA キッズを週３日（月・水・金）開所し、11 名の児童が利用した。学習支援に加え、農業体験や創作活動、地域交流活動などを通じて、一人ひとりが安心して過ごせる居場所づくりに取り組んだ。

また、地域住民やボランティア、ジョブカミーノ利用者との交流を通じて、多様な価値観や世代に触れる機会を創出した。学校や関係機関とも連携しながら、子どもたちの成長と社会参加を支える活動を継続することができた。

２　事業の実施に関する事項

(1)　特定非営利活動に係る事業

事 業 名 （定款に記載した事業名）	具体的な事業内容	(A)当該事業の実施日 (B)当該事業の実施場所 (C)従事者の人数	(D)受益対象者の範囲 (E)人数	事業費の金額 （単位：千円）
就労訓練事業	農業、コミュニティカフェ、フリースクール及び地域交流事業等を活用した就労訓練の実施	(A) 年中 (B) 安芸高田市八千代（農場）、安佐北区亀山（農場） (C) スタッフ４名 ボランティア 5 名	(D) 広島市、及び全国の概ね若者 (E) 12 人	800 千円
共同生活事業	団体シェアハウスにおける共同生活支援	(A) 年中 (B) 安佐北区亀山（シェアハウス） (C) スタッフ２名	(D) 広島市、及び全国の概ね若者 (E) 42 名	250 千円
農林業	農産物の生産・販売、収穫祭の開催	(A) 年中 (B) 安芸高田市八千代（農場）、安佐北区亀山（農場） (C) スタッフ３名 ボランティア 50 名	(D) 広島市在住の全ての年代 (E) 500 名	5,559 千円

ワークキャンプ事業	若者を対象とした農業型ワークキャンプの実施	A）年3回 （B）安芸高田市八千代（農場）、安佐北区亀山（農場、古民家） （C）スタッフ３名	（D）広島市、及び全国の概ね若者 （E）40人	296千円
地域共生・まちづくり事業	地域交流フリースペースOKAZAKIの運営、コミュニティカフェ岡崎キッチン、地域食堂ぶどうの木、各種ワークショップ等	（A）月～金 10:00～16:00 （B）安佐北区亀山8－19－18 （C）スタッフ6名、ボランティア20名	（D）安佐北区亀山中学校区、及び近隣住民 （E）1000名	12,558千円
こども居場所事業	安佐北フリースクールOKAZAキッズの運営、春と夏のキッズキャンプの実施	（A）月・水・金 10:00～16:00 （B）安佐北区亀山8－19－18 （C）スタッフ3名、ボランティア5名	（D）広島市在住の小学生 （E）100名	2,050千円
相談啓蒙事業	不登校、ひきこもり等に関する相談支援及び講演活動	（A）年中 （B）安佐北区亀山8－19－18 （C）スタッフ2名	（D）広島市、及び全国区 （E）500名	0千円
障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するための法律に基づく障害福祉サービス事業	実施なし	活動なし	活動なし	0千円

計21,513千円

(2)　その他の事業

　実施しなかった

(備考)

1　2は、(1)には特定非営利活動に係る事業、(2)にはその他の事業について区分を明らかにして記載する。

2　2(2)には、定款上「その他の事業」に関する事項を定めているものの、当該事業年度にその他の事業を実施しなかった場合、「実施しなかった」と記載する。